

～男女共同参画社会を考える情報コーナー～

With you

あなたと
いっしょに・・・

第8回

～ 築こう！ 男女共同参画社会 ～

長引く経済不況のもと、倒産やリストラにより、自ら命を絶つ働き盛りの男性が増えています。これまで、多くの男性は「家族の経済的責任を持つのは男、家族の世話は女」という固定的な考え方で育てられ、また、周囲も「男なら妻子を養って一人前」という期待をしてきました。そのため、「これ以上、がんばれない」という限界に達したとき、自ら命を絶つのではないかと言われています。

世論調査では、「社会全体でみた場合に男女の地位は平等か」という問いに対し、77%の人が「男性優位の社会」と答えています。確かに、職場、政治の場、慣習などにおいてまだまだ男性優位の社会です。しかし、「周囲の期待」という重荷を背負わされているのは、男性にとって決して生きやすい社会ではないように思えます。男性も女性も、自らの意思で自分らしく生きることができる社会が実現されたらどうでしょう。お互いを思いやり、認め合い、高め合えたら、一方だけが重荷を背負うこともなくなります。

国は「男女共同参画社会の実現は、21世紀の我が国社会を決定する重要課題」とし、さまざまな取り組みを行っています。八戸市でも、昨年10月、男女共同参画社会の実現に向けて、「男女共同参画基本条例」を施行し、「男女共同参画都市」を宣言しました。

今、大切なことは、「男だから」「女だから」の枠に縛られず、ともに協力し支え合えるパートナーとして男女共同参画社会を築いていくことではないでしょうか。

ちょっと紹介！ 男女共同参画宣言都市奨励事業

男女共同参画都市宣言記念樹を植えました。

男女共同参画都市宣言を記念して、市庁本館前庭園に、市民の木「イチイ」を植えました。

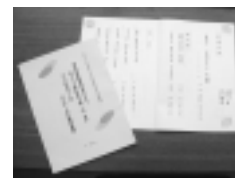
この木の成長とともに、八戸市に、男女共同参画社会が実現されることを願っています。



“男女共同参画社会を考えよう！「ちょっと言わせて五・七・五」シンボルマークコンクール”を開催しました。

たくさんのご応募ありがとうございました。いずれも素晴らしい視点での作品でしたが、特に優れている作品を選考し、入賞作品集としてまとめました。

ご希望の際は、企画調整課にお問い合わせください。



八戸市男女共同参画基本条例

が施行されました！

男女共同参画の推進は、少子高齢化をはじめとした社会環境の変化に対応し、豊かで活力あるまちを築いていくために、とても重要なことです。

このため、市や市民の皆さん、そして事業者が、その基本となる考え方（5本の柱）をもとに、お互いに協力して、男女一人ひとりが生き生きと暮らすことのできる八戸市を築くため、条例を制定しました。

男女共同参画を推進するための5本の柱

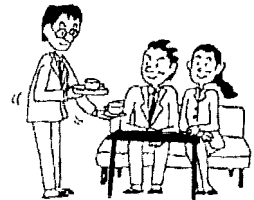
1. 男女の人権の尊重

男女それぞれの人権を尊重し、性別により差別しないようにしましょう。また、一人ひとりが個性と能力を発揮できるようにしましょう。



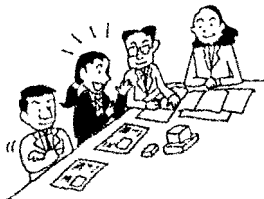
2. 社会における制度または慣行についての配慮

「男だから」「女だから」という性別による固定的な役割分担の意識が、地域活動への参加、職業や学校を決めるときに影響を及ぼさないようにしましょう。



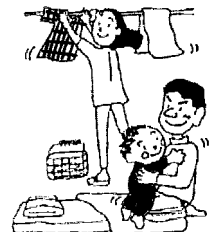
3. 方針の立案および決定への共同参画

男女が対等なパートナーとして、さまざまな分野における方針の立案や決定の場に参画できるようにしましょう。



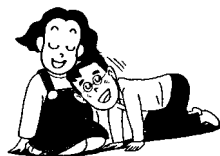
4. 家庭生活における活動と他の活動の両立

家族一人ひとりがお互いに協力し合い、社会の支援を受けながら、家庭生活と仕事や地域活動との両立ができるようにしましょう。



5. 性と生殖に関する健康と権利

男女ともお互いのからの違いについて理解を深め、生涯にわたって健康に生活を送れるようにしましょう。また、お互いの意思で安心して妊娠と出産ができるようにしましょう。



この5本の柱をもとに、次のことに取り組みましょう！

◎市民の皆さんは、家庭・職場・学校など、さまざまな分野に、自分の意思で積極的に参画しましょう。

◎事業者は、男女が対等なパートナーとしてともに参画し、能力を発揮できる体制を整備しましょう。

この条例では、事業者を株式会社や有限会社をはじめとする企業や個人商店のほか、NPO（民間非営利団体）や町内会などの営利を目的としない団体としています。

市民・事業者の皆さん、市が行う男女共同参画を推進するための事業に協力しましょう！

★なお、条例本文は、市のホームページでご覧になれます。

事の両立

出演者
 内海 隆さん（八戸大学学長補佐・教授、八戸市男女共同参画基本条例策定委員長）
 高橋真理子さん（八戸市男女共同参画宣言都市実行委員長）
 工藤 伸明さん（前 With you 編集委員）
 松橋いく子さん（ " ）
 阿部 里恵（With you 編集委員）
 佐藤千恵子（ " ）
 下館 洋子（ " ）
 司会者
 馬渡 里子（With you 編集委員）



佐藤

は私たちが見ていてあげるから、働きなさいよ。」と言ってくれたんです。彼女たちは、私の子どもを自分の子どものように、おんぶして買い物に行ってくれました。私を応援してくれて、心強かったしありがたかったです。ですから、内海さんのおっしゃる孤立しないことが、家庭と仕事を両立していくうえで大切だと、今、改めて思いますね。

子育てと介護は同じレベル

司会：介護については、男女がともに担うべきだと思うのですが、どうお考えですか。

工藤：私は、男女共同参画という意識は少なからず持っているので、妻と相談しながら当然関わっていきますよ。

私の中では、子育てと介護は同じレベルなんです。

松橋：介護については、介護保険制度が始まり、関心を持つ人も増えているので、男性の考え方も変わってきていると思います。

これからは、女性の負担も少しは緩和されてくるのかなと思います。



松橋さん

下館：私の父は、家事をするのを何とも思わない人ですし、結構まめなんです。地域にもすっかりとけ込んでいて、母が入院したときなどは近所の人たちから支えられて介護をしていました。

昔ながらの近所付き合いをすることは大切ですね。

内海：そうなんです。介護においても、社会から孤立しないことが必要だと思いますよ。

自分の意思が大切

司会：最後に、家庭と仕事を両立するためには、どうしたらいいとお考えですか。

工藤：働く女性が置かれている立場や状況を、男性側が理解し意識を変えていくしかないと思います。

男性は、働きたいという女性の意思を尊重し、自分自身も柔軟に対処できるようになることが大切です。

これからの世の中、女性が働くことはプラスになることのほうが多いですよ。



工藤さん

内海：難しい状況に直面したとき、夫婦できちんと話し合いが出来ればうまくいきます。

何よりも、自分の意思が大切です。そして大事なことは、夫婦が地域から孤立しないで、自分たちも地域によって支えられているんだということを実感しながら、それを家庭でも共有することです。

仕事を続けていく上で、逆に子育てや介護がいやしくなると思えたらいいですね。

1. **保育サポーター**...子育て中の家族の支援のため、子どもを預かったり、保育所の送迎などをしてくれる制度です。

[問い合わせ 21世紀職業財団青森事務所]

☎017 - 776 - 2020]

2. **子育て支援センター**

子育てに関する相談や指導、子育て支援サークルの支援などを行っています。

—問い合わせ—

桔梗野保育園 ☎28-3510
 たいなか保育園 ☎22-2216
 轟木保育園 ☎52-5511
 根岸保育所 ☎28-2116
 白鷗保育園 ☎33-6011
 明星保育園 ☎34-4663

情報誌「With you」編集委員募集！

男女共同参画社会について、市民の皆さんの視点で作る情報誌です。

この情報誌と一緒に作ってみませんか。

男女共同参画に関心のある市民の皆さんのご応募を、心からお待ちしています。

応募資格 市内在住20歳以上の方（男女）

募集人員 若干名（任期2年）

応募方法 応募の動機・抱負等を800字以内にまとめ、氏名、年齢、職業、電話番号、FAX番号を記入のうえ、3月15日までに郵送してください。

申込み・問い合わせ 企画調整課 男女共同参画室（☎内線485）

男女共同参画の推進において、大きな問題になっている「家庭と仕事の両立」をテーマに座談会を開催しました。

平成13年6月、国の『男女共同参画会議仕事と子育ての両立支援策に関する専門調査会』は、各企業が雇用形態などの改革に取り組む「両立ライフへ職場改革」や、待機児童の解消をめざし保育施設を整備する「待機児童ゼロ作戦」など5つの施策を、平成16年度までに実施するように国に提言しました。

座談会 家庭と仕



馬渡

司会：今日は、家庭と仕事の両立について、皆さんから率直なご意見をお伺いしたいと思います。

まず、共働きの場合、妻と夫のお互いの協力なしには、家庭と仕事の両立は難しいと思いますが、皆さんはどうお考えですか。

長男の嫁が「悪妻宣言！」



高橋さん

高橋：私は、結婚当時、仕事をしていました。家事は、私がしていましたが、子どもが生まれたとき、夫が「おしめはオレが洗う」と言ってくれたのです。以来、夫が主に洗濯をしてくれています。

夫の両親と同居することになったとき、「共働きしていますし、よい嫁にはなれません。」と悪妻宣言をしました。姑は、驚いたでしょうね。でも、私の気持ちはとても楽になりました。

ある日、まだ小さかった子どもに「どうしてうちはお父さんが洗濯をするの？」と聞かれ、ハッとしました。他のお父さんって、洗濯しないんだとわかりました。でも、家庭のやり方って、いろいろあって別にいいんじゃないかと思います。

工藤：私の場合、夫婦で理髪店をやっていますので、基本的には、手の空いている人が家事や育児をすると決めています。

夫が家事や育児をすることに、世間体を気にする人がいますが、それは周りの無責任な見方ですから気にしない方がいいんじゃないですか。「うちは、このやり方でうまくいってればいいんだ」と思えば楽ですよ。

松橋：私は、両立というより、私自身「仕事がし

たかった」が第一でした。一度仕事を辞めると、二度と仕事に就けないのではないかと不安だったんです。世間体とかではなく、自分が頑張りたいと思いました。

阿部：私は、子どもが小さいころは、子育てに専念しました。下の子どもが小学校に入学した後、仕事がしなくなり働くようになりました。

外に出て、違う空気を吸うことも楽しいですね。



阿部

社会から孤立しない

司会：女性が安心して働くために、保育サポーター(1)や子育て支援センター(2)などがありますが、そのほかに何が大切だとお考えですか。

内海：そういう制度を利用するのは、とてもいいことです。北欧のように、国がきちんと整備してくれば安心して働けますよね。

大切なことは、夫婦が社会から孤立しないことです。昔のように「ちょっと子どもを見ててちょうだい」と頼めるような近所付き合いを作り上げていくことも必要です。それに、核家族の場合、親が子どもと向き合う時間は多いですね。でも、父親は会社人間で不在なので、母親ばかりがストレスを抱え込みます。そんなとき、相談できる人が近所にいたら、うれしいじゃないですか。



内海さん

佐藤：そうですね。私は、社宅に住んでいたから、社宅の皆さんと友達になりました。たまたま仕事の話がきて、「どうしようかな」と話したところ、専業主婦である彼女たちは、「子ども

編集後記

私たち第二期編集委員は、今回の「With you」をもって任期を終了します。

2年間で、4回の「With you」を発行しました。市民の皆さんに、「男女共同参画社会」をもっと身近なものとして感じていただくため、少しでもわかりやすく自分たちのことばで伝えたいという思いで、編集作業を行ってきましたがご理解いただけたでしょうか。ご意見・ご感想をお聞かせください。

最後に、これまで、たくさんの皆さんにご協力いただき、心からお礼を申し上げます。

2年間ありがとうございました。

(編集委員 阿部・佐藤・下舘・馬渡)



この記事は、一般公募で選ばれた皆さんが作成・編集しています。
お問い合わせ 企画調整課 男女共同参画室(☎内線485)